

LSF3シリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

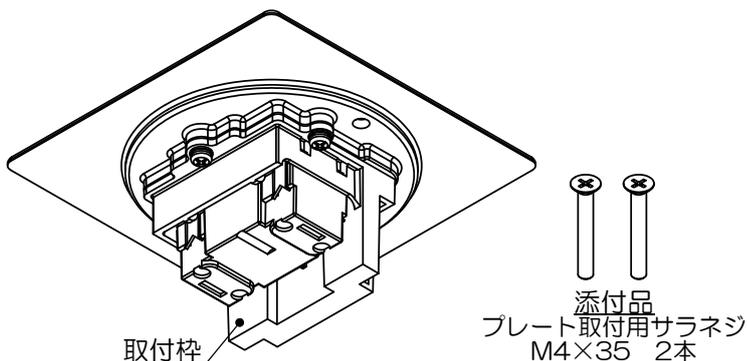
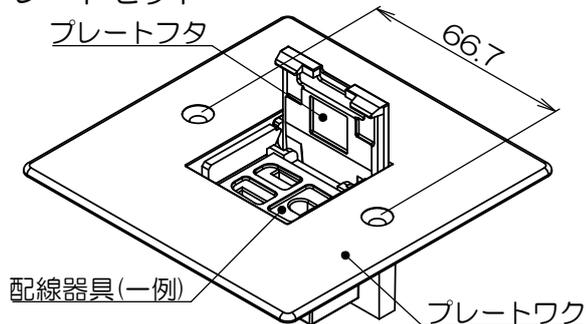
注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

警告	
禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

注意	
禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
必ず守る	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆床に堅固に取り付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

◆部品構成と名称

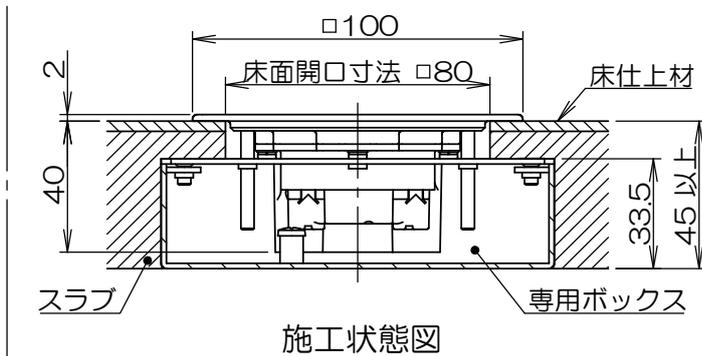
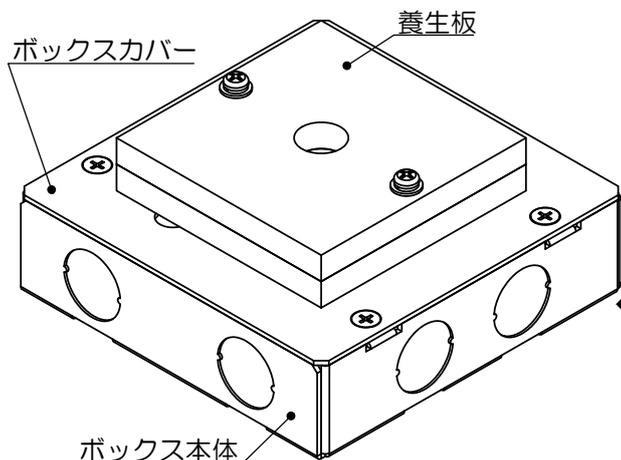
・プレートセット



・専用ボックス

品番：LSF00003

※適合PF管コネクタ：MFSK-16GS 未来工業(株)製



◆注意事項

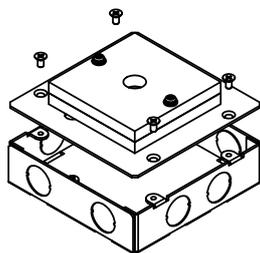
1. 本製品を床高45mmでご使用になる場合、専用ボックス(LSF00003)が必要です。
2. 市販品の鉄製大四角浅型・深型アウトレットボックス、鉄製大四角丸穴塗代カバー(P=66.7mm)にも対応しております。
3. 樹脂製塗代カバーをご使用になる場合、塗代カバーの形状によっては適合しない場合がございます。

施工方法

◆専用ボックスをご使用になる場合

1 ボックスの分解

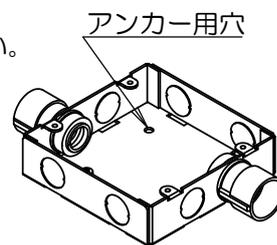
ボックス本体から、養生板・ボックスカバーを外してください。



◆注意◆
取外したネジは再度使用する為、紛失しない様に保管してください。

2 電線管の接続

必要な箇所のノックアウトを開け、電線管コネクタ・電線管をボックスに接続し固定してください。
※右図は一例を示します。

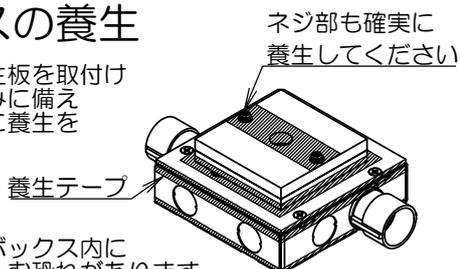


また、アンカー用穴を使用し床面へ確実にアンカー止めを行なってください。

◆注意◆
適合PF管コネクタ
MFSK-16GS 未来工業(株)製

3 ボックスの養生

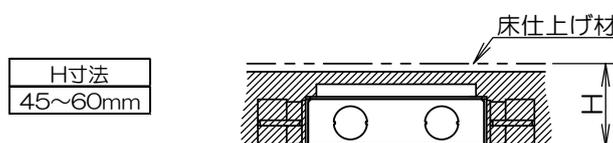
ボックスカバー・養生板を取付けコンクリート流し込みに備え養生テープ等で確実に養生を行なってください。



◆注意◆
隙間があった場合、ボックス内にコンクリートが流れ込む恐れがあります。

4 コンクリートの流し込み

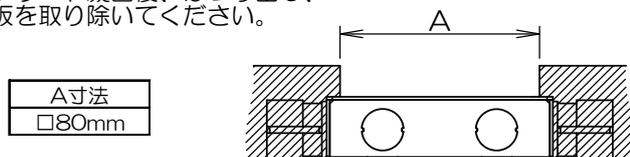
コンクリートを流し込みます。この際、流し込む高さは床仕上げ材を含んでH寸法以上になるようにしてください。



5 床面開口寸法

打ち込みの場合

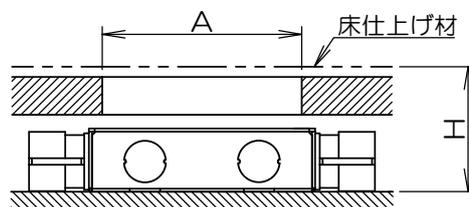
コンクリート凝固後、はつり出し、養生板を取り除いてください。



◆注意◆
市販品のアウトレットボックスをご使用になる場合
A寸法：φ80~φ90mm

二重床の場合

作業手順4と同様のH寸法によりボックスを設置してください。

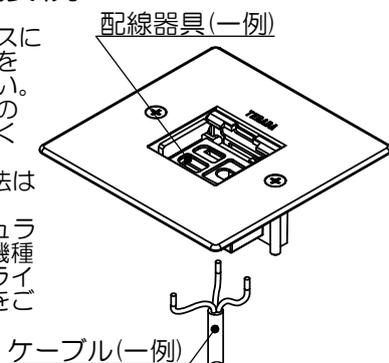


◆プレートセット施工方法

1 ケーブルの接続

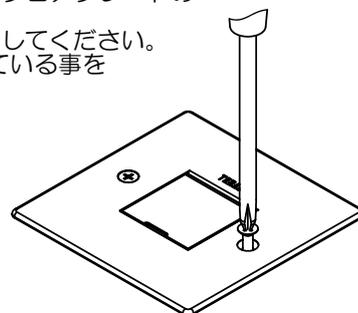
床仕上げ材を敷き、ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具に接続してください。配線方法については各器具の配線方法に従って行ってください。

- ※1・床仕上げ材の開口寸法は床面と同様。
- ※2・CAT5E,CAT6モジュラジャックを使用する機種に関しては、添付のライトアングルキャップをご使用ください。



2 プレートの固定

ボックスカバーのM4タップとフロアプレートのサラ穴の位置を合わせ添付のサラネジ(M4×35)2本で固定してください。固定後、プレートフタが閉まっている事を確認し作業終了です。



■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361